

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市広場等管理事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	まちづくり推進課				
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	梶 隆之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅前センター地区都市広場	意図	センター地区の活性化を図り、駅と周辺の円滑な歩行者ネットワークを確保する。
事業内容	流山市の新拠点である流山おおたかの森駅及びその周辺は、本市の新しい中心核に相応しいシンボリックな空間としての都市広場の整備が進められており、施行者から引継された広場の機能を適正に維持するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> つくばエクスプレスの開業及び周辺宅地整備に伴い、都市広場の利用者が年々増加している。 平成25年度より地元自治会への清掃委託また流山ライオンズクラブによるボランティア清掃等が行われ、駅前広場の美化に努めている。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	都市広場管理面積	13,770	13,975	15,047	m ²	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	18,254,521	19,158,130	52,601,306
事業費(b)(円)	17,842,621	18,755,410	52,205,786
うち一般財源	6,442,621	5,983,470	13,456,886
職員給与費(c)(円)	411,900	402,720	395,520
人役・職員(人)	0.06	0.06	0.06
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- 流山シニアライオンズクラブによるボランティア清掃。
- 西初石6丁目自治会に定期的な清掃を委託し、美化が保たれている。
- 広場利用では平成30年度に南口都市広場において、22回のイベント等が開催された。
- 流山高等学園の生徒が育てた花を広場に植えていただき、多くの市民の憩いの場となっている。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	<ul style="list-style-type: none"> TX高架下商業施設開業（秋葉原方）に併せて都市広場整備を行う。 地元自治会へ清掃業務を委託し、清掃費の縮減を図る。 	③取組における課題(Check)	多くのイベント開催による施設の汚れや破損が発生している。
②H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> 市有地活用事業に併せ北口都市広場の整備を行った。 つくばエクスプレス沿線駅周辺に、サイン設置を行った。 	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> イベント等の開催に際しては、主催者に施設の適切な使用について指導、管理を徹底する。 改修計画を進める。

行政報告書

事業名	都市広場等管理事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款	08	土木費	
施 策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備			項	04	都市計画費	
主管課	まちづくり推進課			主管課長	梶 隆之		事業コード	01 — 51
事業目的	対象			意図				
	流山おおたかの森駅前センター地区都市広場			センター地区の活性化を図り、駅と周辺の円滑な歩行者ネットワークを確保する。				
事業内容	流山市の新拠点である流山おおたかの森駅及びその周辺は、本市の新しい中心核に相応しいシンボリックな空間としての都市広場の整備が進められており、施行者から引継された広場の機能を適正に維持するものである。							
事業の実績（指標）	都市広場管理面積	15,047	m ²	決算額	事業費計		52,205,786 円	
					財源内訳	国庫支出金	17,900,000 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	19,600,000 円	
						その他特定財源	1,248,900 円	
			一般財源	13,456,886 円				
				職員給与費		395,520 円		
				事務事業の総コスト		52,601,306 円		
指標で表すことができない定性的な成果				繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	無
					翌年度への明許繰越額 10,541,000円			

職員給与費は、事務事業マネジメントシートにおいて積算した費用を掲載しています。